

徳大卒業生 就職活動体験記(8)

名前：劉 圳

(リュウ セン)

出身：中国

学歴：徳島大学大学院創生科学研究科

理工学専攻電気電子システム (2021 年度修了予定)

会社：SERIO 株式会社 (岡山)

仕事内容：ソフトウェア・エンジニア



(1) 私が日本企業に就職しようと思ったきっかけは？：

小さい時から日本のアニメが好きで、特に「新世紀エヴァンゲリオン」の近未来的な設定に影響を受けた私は、次第に「将来は自分もロボットを作りたい」と考えるようになりました。そして、中国のソフトウェア関係の大学で機械制御を本格的に学び始めた頃から「ロボット制御技術を極めるために、この分野で先進的な日本で学びたいなあ」と考えるようになりました。

徳島大学大学院に進学してからは、電動車椅子の自律走行システムの開発に取り組みました。同じゼミの日本人学生と共に毎日試行錯誤を繰り返す中で日本語が上達し、ある程度自由に日本語で会話ができるようになるにつれ、次第に「日本の企業に就職するのもアリかも…」と考えるようになり、日本での就活に取り組むようになりました。

(2) 就活で苦労したこと&成功したポイント：

一番苦労したこと、というか一番の反省点は、「就職活動をはじめる時期が遅すぎた」ことです。当初、日本での就職について考えてはいたものの、あまり明確なものではなかったため、就職活動が解禁された 3 月以降も何をしていいのかわからず、活動はしていませんでした。本格的に就職活動をはじめたのは 6 月ごろからだったのですが、ほとんどの企業が書類選考を終えた段階だったので、希望する企業を探すのにとっても苦労しました。

ただ、私の場合は「アドバイスをしてくれる人に恵まれた」と思います。第 1 希望の企業から最終面接で落とされたときはとても落ち込んだのですが、留学生の就職支援を担当している先生からのアドバイスで、岡山の SERIO 株式会社を受け、最終的に同社から内定を貰うことができた時はとても安心しました。

(3) これからの就活に向けたアドバイス：

私からのアドバイスは、できるだけ早く就職活動をはじめることです。中国と日本では就職活動の時期ややり方が大きく異なります。日本での就職活動をしっかりと学び、インターンシップや各種就職セミナーを通して少しずつ準備を積み重ねることが大切です。日本では新卒のチャンスを逃すと、なかなか就職先が見つかりません。日本語を含め、準備をしっかりとすることが、日本での就職を実現するために最も大切なことだと思います。